第1部

講演：「見えない障害～高次脳機能障害を考える～」

講師

原　寛美（はら　ひろよし）氏



松本看護大学学長。
京都大学医学部卒業。リハビリテーション科の専門医として、長年、事故や脳卒中などにより、 記憶障害をはじめとする高次脳機能障害のある方々のリハビリテーション診療に携わる。現在は、松本看護大学において、看護師・保健師の育成や公開講座の開催、地域づくりに尽力している。講演では「病院から自宅へ」「自宅から地域・職場へ」と、リアルな事例をもとに、誰もが暮らしやすい街づくりのヒントをやさしく語る。

第2部

トークセッション：「当事者の声から学ぶ」

障がいを持つ方によるトークセッション。見た目ではわからないがゆえに発生する行き違いや苦労のほか、今楽しんでいること・やってみたいこと・生活の中で感じていることなどを語っていただきます。

お話　高次脳機能障がいの方・精神障がいの方

進行　西村　昭太　氏（NPO法人　ケ・セラ理事長）

障害者週間の取り組み

国は毎年12月3日から9日までの期間を「障害者週間」と定めています。障がいのある方への理解と関心を深め、障がいのある方の自立と社会参加を促進するため、 全国でさまざまな取り組みが行われています。

松本市では、障害者週間に合わせて、障がいのある方への理解を深めるための講演会などのイベントを開催しています。

イラスト（竹筒　葉　/　七乃　清白）